



編集・発行 北海道立生涯学習推進センター
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 8階
 E-mail kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp

電話 011-204-5781 FAX 011-261-7431
 ホームページアドレス <https://manabi.pref.hokkaido.jp/>

◆◆平成28年度生涯学習推進基本講座(道東会場)終了◆◆

<研修テーマ> 「地方創生を成し遂げる『地域を見つめる学び』の推進について」
 ～持続可能な地域づくりのための「地域」に立脚した社会教育の在り方～

平成28年6月30日(木)・7月1日(金)の2日間、十勝管内幕別町において、十勝教育研修センターを会場に生涯学習推進基本講座(道東会場)兼十勝管内社会教育主事等研修会を開催しました。十勝管内を中心に道東各管内から30名の社会教育主事、社会教育担当職員等が参加し、「地域を見つめる学び」の推進をテーマに、地域を見つめ、将来を見通す学びをどのように展開していくかを考えました。本号ではその研修内容のポイントを紹介いたします。

<本研修会のポイント>

①説明

人口減少を背景として、地方創生の実現が求められている昨今、重要なキーワードは、

「まちの最適化」「地域をつくる学び」「高齢者の力」

説明者 道立生涯学習推進センター主幹 阿部 隆之



②講義



地域学とは？

地域に住む人々がまちを歩き、課題を発見し、自分たちで調べてまとめる。このような調査研究を軸とした一連の学習活動や地域づくりのいとなみを「地域学」あるいは「地元学」とよんでいます。

講師 北海道教育大学教職大学院教授 廣瀬 隆人 氏

○地域学・地元学のポイント

- ・「自分で調べる」を核とすることで、まちづくりのキーパーソンが育成される取組となる。
- ・自分でまちの課題を発見すると行動につながる。
- ・自分で作ったという意識を持ってもらうことが大切。
- ・最後のまとめが重要。記憶の地域学！(「〇〇学ガイドブック」「〇〇辞典」「〇〇観光ガイドブック」、紙芝居、演劇、映像化など)

○行政職員の関わり

- ・やらせっぱなしはだめ！行政職員が寄り添う。
- ・最初は丁寧に、少しずつ自立に向けた支援に回る。
- ・支援のタイミングやバランスが難しいが重要なポイント。

③情報交換・分科会

<事業企画>と<計画策定>の2つの分科会で研究協議を実施しました。

④全体会

各分科会での協議内容を共有し、講師から助言をいただきました。

○地域の実態を事業や計画に反映させるポイント

- ・北海道は、全国的に見てもしっかり計画が策定されていて素晴らしい！
- ・住民の言葉を使いながら計画を作る。
- ・アンケートは、自由記述の中に本音が書かれている。
- ・時間と手間がかかるが聞き取り調査で住民の声を直接聞くことができる。
- ・社会教育委員にヒアリングを依頼することも有効。



● 本研修会事業報告書について ●

「生涯学習ほっかいどう」トップページの「生涯学習推進センター情報 (<https://manabi.pref.hokkaido.jp/>)」並びに「平成28年度主催講座一覧」(<https://manabi.pref.hokkaido.jp/center/works/course>)に掲載していますので、本研修会だよりとあわせて御覧ください。また、本研修講座の内容や資料についてのお問い合わせは、道立生涯学習推進センター ☎ 011-231-4111 (内線 36-326) まで御連絡ください。

◎研修のご案内◎

課題対応型学習活性化セミナー 9月1日(木)～2日(金) かでる2・7
 (地域づくりの担い手として高齢者が活躍するための仕組みづくりについて、コミュニティービジネスの手法を使って専門的知識や技術の習得に関する研修を行います。)